

# 「感染症の哲学」

## 【日時】

2020年4月22日（水）

15:00~18:00（日本時間）

14:00~17:00 香港・15:00~18:00 ソウル

## 【参加方法】

Zoom ウェビナーを使用した  
オンラインイベントになります。  
以下の URL から参加登録を  
お願いします。



[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_6i933frkQHCyEC6YUTF\\_3A](https://zoom.us/webinar/register/WN_6i933frkQHCyEC6YUTF_3A)

- 15:00-15:10 開会挨拶  
15:10-15:25 発言1：中島隆博  
Democracy in Pandemic：パンデミックの中のデモクラシー／パンデミックになったデモクラシー  
15:25-15:40 発言2：王欽  
“Une euphorie fragile”：共同的なものとしてのウイルス  
15:40-15:55 討論
- 16:10-16:25 発言3：國分功一郎  
新型コロナウイルスと哲学者たち  
16:25-16:40 発言4：金杭  
今一度、人間の条件について  
16:40-16:55 討論
- 17:10-17:25 発言5：石井剛  
感染症の歴史  
17:25-17:40 発言6：張政遠  
疫災後文学論の可能性  
17:40-17:55 討論  
17:55-18:00 閉会挨拶

新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大で全世界が翻弄されています。日本では、緊急事態宣言が発令されており、東京大学はキャンパスにおける活動制限をさらに厳格化しています。当面の間、対面授業や研究会ができなくなりましたが、人文学や教養学の真価が問われる最中です。東アジア藝文書院（EAA）ではオンラインワークショップ「感染症の哲学」を緊急開催し、さまざまな角度から感染症について議論を行います。

登壇者（五十音順）：

石井剛（東京大学）

王欽（東京大学）

金杭（延世大学）

國分功一郎（東京大学）

張政遠（東京大学）

中島隆博（東京大学）

【使用言語】

日本語

【主催】

東京大学東アジア藝文書院（EAA）